

【技術分類】 6 - 2 - 4 歯内治療 / 治療用器材 / 根管充填器材

【技術名称】 6 - 2 - 4 - 1 根管充填器

【技術内容】

歯内治療において、拡大した根管内へガタパーチャを充填する際に使用する器械である。

根管充填器は本体、ハンドピースから構成される。

根管充填器では、ガタパーチャポイントをハンドピース内に装填後、加熱軟化させて流動性を発現したガタパーチャポイントを、ハンドピース先端のニードル部より根管内へ充填するものである。口径が異なるニードルを装着することにより、拡大した根管に合った充填が可能となる。

加熱軟化したガタパーチャポイントは冷却固化により体積収縮を示す。従って、根管壁とガタパーチャの隙間には根管充填材でシーリングする必要がある。

【図】

図1 根管充填器



【出典】

図1： 表題：「オブチュラ II」、関連箇所：「ホーム > 分類別検索 > 診察用器材 > 根管治療器 > オブチュラ II > オブチュラ II」、著者：株式会社モリタ、掲載場所：株式会社モリタホームページ、検索日：2006年12月14日、

アドレス：[http://www.dental-plaza.com/members-club/internet\\_do/sh\\_img/646100.jpg](http://www.dental-plaza.com/members-club/internet_do/sh_img/646100.jpg)

【技術分類】 6 - 2 - 4 歯内治療 / 治療用器材 / 根管充填器材

【技術名称】 6 - 2 - 4 - 2 根管充填用ピンセット

【技術内容】

歯内治療において、根管内にガタパーチャポイントを把持する際に使用する器具である。

材質はステンレス鋼など金属製である。形状はピンセットとほぼ同等の構造である。先端部はガタパーチャポイントを把持しやすいように、溝が掘られ、さらに凹凸加工されていて、ガタパーチャポイントを滑らずに把持することができる。中央部にロック機構がついているものもある。

【図】

図1 根管充填用ピンセット



【出典】

図1： 刊行物：「General Catalog(総合カタログ)vol.14」、発行年月日：2005年10月、発行者：株式会社YDM、出典箇所：31ページ、図番号：なし(最上段~中段)、図面名称：「根管充填ピンセット」

【技術分類】 6 - 2 - 4 歯内治療 / 治療用器材 / 根管充填器材

【技術名称】 6 - 2 - 4 - 3 根管清掃剤

【技術内容】

歯内治療において、拡大した根管を清掃するための薬剤である。

古くは3%過酸化水素水と5%次亜塩素酸ナトリウムによる交互洗浄法が実施されていた。しかし現在では、次亜塩素酸ナトリウムとEDTA（エチレンジアミン四酢酸ナトリウム）による清掃法が実施される場合が多い。

次亜塩素酸ナトリウムは、有機物を酸化して低分子に分解するものである。

EDTAは、無機物をキレート結合により捕捉して除去するものである。

また、根管壁に次亜塩素酸ナトリウムとEDTAを同時に使用した場合でも、それぞれの作用が消失することはない。

通常の根管清掃の方法は、最初に有機物で覆われている根管を次亜塩素酸ナトリウムで清掃し、その後、EDTAを使用して歯質を軟化させる、最終的には次亜塩素酸ナトリウムによる根管洗浄を以って終了する。

【図】

図1 根管清掃剤（次亜塩素酸ナトリウム）



「チャンネルクリーナー」：株式会社ビーブランド・メディコ・デンタルの登録商標

【出典】

図1： 表題：「チャンネルクリーナー」、関連箇所：「ホーム > 製品紹介 > 歯科治療関連：チャンネルクリーナー > チャンネルクリーナー」、著者：株式会社ビーブランド・メディコ・デンタル、掲載場所：株式会社ビーブランド・メディコ・デンタルホームページ、検索日：2006年12月14日、アドレス：[http://www.bee.co.jp/dental/02\\_01.html](http://www.bee.co.jp/dental/02_01.html)

【技術分類】 6 - 2 - 4 歯内治療 / 治療用器材 / 根管充填器材

【技術名称】 6 - 2 - 4 - 4 ガタパーチャポイント

【技術内容】

歯内治療において、拡大した根管内へ充填される材料である。

ガタパーチャポイントはトランス - 1,4 ポリイソブレンゴム(ガタパーチャ)を 12 ~ 26%を含有し、ほかに酸化亜鉛など無機物を 71 ~ 83%、ワックス・レジン類を 1 ~ 5%含有する。流動性発現温度はワックス添加量(多いほど低下する)とガタパーチャ分子量(小さいほど低下)が関与している。

形状は先端がテーパの棒状である。リーマーあるいはファイルの規格に合わせたサイズでカラーコードが対応したものがある。

加熱軟化させたガタパーチャポイントを根管充填器あるいはスプレダーを使用して拡大した根管内へ充填する。冷却固化とともに体積収縮が起るため、根管壁とガタパーチャの間には根管充填材でシーリングする必要がある。

【図】

図 1 ガタパーチャポイント



図 2 ガタパーチャポイントのサイズ

挿入本数	60	60	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	60	60
														
ISOサイズ	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	70	80	90	100
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

【出典】

図 1： 表題：「根管充填関連商品 ガタパーチャポイント」、関連箇所：「松風トップページ > 製品情報 > 根管治療用器具 > 根管充填関連商品：ガタパーチャポイント > 根管充填関連商品 ガタパーチャポイント > 詳細」、著者：株式会社松風、掲載場所：株式会社松風ホームページ、検索日：2007年1月30日、

アドレス：<http://www.shofu.co.jp/prd/10file/6010.htm>

図 2： 表題：「根管充填関連商品 ガタパーチャポイント」、関連箇所：「松風トップページ > 製品情報 > 根管治療用器具 > 根管充填関連商品：ガタパーチャポイント > 根管充填関連商品 ガタパーチャポイント：詳細 > 根管充填関連商品：ガタパーチャポイント」、著者：株式会社松風、掲載場所：株式会社松風ホームページ、検索日：2007年1月30日、

アドレス：[http://www.shofu.co.jp/prd/10file/6010\\_2.htm](http://www.shofu.co.jp/prd/10file/6010_2.htm)